

提出していただいた意見とそれに対する市の考え

<

第3次とよあけ健康21計画(案)

>

NO.	意見等の概要	件数	豊明市の考え・対応
1	食と運動の項目はいいのですが、内容が薄すぎます。食による予防こそが健康の基本！！ ・食は食育の中で地産地消の顔の見える食事をし、生産過程の見える化。食料自給率UPにもつなげてほしい。 ・人の体は食べているものでつくられます。食品添加物による健康被害もあるので『本当に』体にいい食事とは何か？をもっと詳しく掘り下げるべき！！ 今見直されている腸活健康法。脳よりも腸が体に指令をだしている。ミミズは腸のようなもの。腸を攻撃するグルテン。グルテンフリーとは？グルテン不耐性。 ・体の酸化を防ぐ、アルカリ食材、油の酸化の危険、 ・その他にも、牛乳のカゼイン、何においてもリスクの高い砂糖の危険と体の老化、癌の餌となることを知らしめるべし。 またSDGSはグローバルなものですが、日本人の体は日本特有の構造をしているのでSDGSグローバルとは区別すべき。 ・精製塩よりミネラルもとれる天然塩の魅力。 ・愛知ならではの味噌の魅力を生かす。発酵食品の体への影響の発信。 ・遺伝子組み換え食品のリスク ・脳梗塞の予防のために、人と接する機会の創出も大切です。 定年後、体の自由も減って家に引きこもりがちです。ラジオ体操やボランティア、地域の議会傍聴など、定年後にみんなと集えるしかけがいくつか欲しいです。町内会もめんどくさがられることもあります。地域の顔を知る意味でも大切な役割をはたしていました。散歩をして顔を合わせる。そんな地域づくりが脳に刺激を与えて健康の維持につながります。	1	ご意見いただきありがとうございます。 ・食事の項目について、生活習慣病予防、重症化予防を目指し、野菜摂取量を増やす等バランスの良い食事について科学的な根拠に基づく情報の普及、啓発に努めてまいります。 ・食育に関しては、食育ネットワーク会議等を通じて関係機関と連携、協働し、自然に健康になれる環境づくりという目標を掲げ、健康的に持続可能な食環境づくりを進めていくこととします。取組の一例として、地産地消の推進を目的とし豊明産の農産物とわかるようシールを作成し、消費者へPRしたり、「豊明市とあいち尾東農業協同組合との地域農業の振興に関する事項を協定で取組むことにより、豊明市内における地域農業の振興及び活性化を図り、未来に持続可能な農業を目指すことを目的としています。 ・また、希薄化が進んでいるといわれている地域のつながりは非常に重要です。現在実施しておりますあいさつ運動や各地域で実施している運動教室など様々な取組を通じて、多様な主体が主体的に健康づくりに取組むことができるよう、さらに推進してまいります。 ・生涯を通じて、健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向け、誰一人取り残さない健康づくりの展開と、より実効性をもつ取組みを、国や愛知県の計画理念を踏まえ一層推進していきます。

2	こころの健康について、孤独のレポートなどでは、「孤独の健康への悪影響は、1日15本の喫煙にも相当する」などいわれています。 独り者や、高齢者、(若い家族?)など地域参加できていないことで、健康や、治安に影響があると思います。 だれもが、自分らしく地域参加できるまちづくり。 多様なコンテンツ、ゆるやかなつながりが地域で生まれるように、市として支援いただきたいです。	ご意見いただきありがとうございます。 ・ご意見の通り、希薄化している地域のつながりは非常に重要です。共生交流プラザ「カラット」での多世代交流や、各地域における運動教室、あいさつ運動など、多様な方法で地域とつながりをもち、誰一人取り残さない健康づくりをはかることのできる取組みを実施していきます。
---	--	---